発行所
長野県保険医協会
〒380-0928　長野市若里 1-5-26
電話　026-226-0086
FAX　026-226-8698
E-mail office@nagano-hok.com
年間購読料　3,600 円
会員の購読料は会費に含まれています

長野保険医新聞

2024 年（令和 6 年）10 月 5 日
No.524　（毎月 1 回 25 日発行）
（1990 年 6 月 22 日第三種郵便物認可）

主な記事

2023 年度指導結果…2 面、長期収載品の選定療養 Q&A ／医科新規個別指導対策講習会／ベースアップ評価料様式簡素化…3 面、保険かわら版／理事会便り…4 面

保険証廃止の影響、施設アンケート
記者会見を実施

県保険医協会は 9 月 3 日、長野県庁の会見場で、今年 7 月に行ったアンケート調査の結果報告に伴う記者会見を開き、宮沢会長、林副会長、原事務局長、増田事務局次長が臨んだ。

アンケートは、今年 7 月に長野県内の高齢者施設・障がい者施設計 844 件に対し、健康保険証の廃止やマイナ保険証への移行により施設や利用者にどのような影響が見込まれるか等を調査したもので、243 施設より回答があった。（調査結果の詳細は本紙前号及び県保険医協会 HP に掲載）

「暗証番号付きのマイナンバーカードを施設で管理できますか？」の問に 167 件（68.7％）が「管理できない」と回答し、その内 102 件（61％）が昨年 12 月に導入の暗証番号なしのマイナンバーカードであってもなお「管理できない」と回答したことなどを受け、林副会長は健康保険証廃止に係る問題点を記者団に報告した。高齢者施設や障がい者施設ではマイナンバーカードの管理や申請補助が難しく、マイナ保険証を取得しない場合に交付される資格確認書についてもプッシュ型で発行されるのは当分の間とされており、法令上は申請主義であることから、いずれは困難が生じると指摘。

会見に臨む宮沢会長（中央左）、林副会長（中央右）

宮沢会長は、「紙の保険証は一枚で保険証の役割をする。マイナンバーカードはカードリーダー等により個人を識別できなければ意味がない。政府は健康保険証を人質にしてマイナンバーカードの普及を図る姿勢であり、医療のことを考えて紐付けしているとは思えない。医療の IT 化に反対する訳ではないが、政府の言う医療 DX の行きつく先が、使い勝手を悪くする、医療を排除していく、国民皆保険を否定していく、そのしわ寄せが弱い立場の人たちに来るというのを我々は危惧している」とし、健康保険証存続の必要性を訴えた。

会見場には約 9 社の報道機関が集まり、「家族がマイナンバーカードを管理する場合、いざ医療が必要となったらどのように受診するのか」「アンケート結果を国などに提出する予定はあるか」などの質問が寄せられた。また、宮沢会長に対し報道機関個別のインタビューも後日行われた。

会見場の様子

保険証存続を求める陳情・請願
4 町村が新たに採択

県保険医協会では、昨年度より県内の市町村に対し、健康保険証存続を求める意見書を自治体から国に提出することを求め陳情・請願を行っている。昨年度は 71 市町村に対して実施し、採択 28、不採択 30、趣旨採択 4、一部採択 3、継続審査 6 で、34 市町村で意見書提出が行われた。

今年度は、昨年度に不採択又は陳情ができなかった 31 市町村に対し実施し、9 月 30 日時点で佐久穂町、箕輪町、高山村、川上村の 4 町村にて採択され、そのほか不採択 10、趣旨採択 1、継続審査 1 となっている。採択した 4 町村のうち 3 町村は昨年度不採択としていた。

「保険証残して」の運動に今一度ご協力を

政府から薬局等へ「マイナ保険証お持ちですか」の声かけ強化が指示された結果、市民から「マイナ保険証でないと薬をもらえないのか」などの不安や怒りの声が上がっている。

あくまでもマイナ保険証利用は任意であり、誤解を与えかねない政府の動きに対抗するため、保団連は「今まで通り保険証を使います」シールを作成した。健康保険証を使いたい患者やマイナ保険証を強引に勧めてほしくない患者が、お薬手帳などに貼って見せることで意思表示をしやすくなる狙いがある。

また、請願署名ハガキが一体となったリーフレットも刷新された。各サンプルを全国保険医新聞 9 月 25 日号に同封しましたので、ぜひ追加注文いただき、患者配布にご協力ください。

新リーフレット

シール

【医科】『保険診療の手引』説明会　開催のお知らせ

下記の日程で『保険診療の手引 2024 年 6 月版（入院点数を除く）』をテキストとした診療報酬説明会を開催します。

今回の説明会では、初・再診料、医学管理等、投薬などから診療所での汎用点数を中心に解説します。入院点数の説明はありません。

会場	日程	場所
上田	11/13（水）	上田市勤労者福祉センター
松本	11/14（木）	松本市勤労者福祉センター
長野	11/18（月）	長野市生涯学習センター
飯田	11/20（水）	飯田市勤労者福祉センター

開催時間　19：00 ～ 21：00（全会場共通）

本紙同封の参加申込書により事前にお申込みいただき、『保険診療の手引 2024 年 6 月版（入院点数を除く）』を持参の上ご参加ください。書籍の追加購入が必要な場合は事前にご注文いただき、開催当日に現金でのお支払い・お渡しが可能です。開催録画の配信開始は 11 月末頃を予定しています。

鶏声

緯度からすると日本よりはるかに高く、最北端の町、稚内から更に１１００km（東京から稚内までの距離）も北にあるデンマーク。人口は日本の20分の1たらずの小国だが学ぶべき点が非常に多い。◆教育、仕事、住居全てにおいて男も女も若者も高齢者も障害を持つ人も健常者も全ての人が同じように生活できる国を実現している。世界一、二位の福祉先進国だ。◆税金は高く、所得税が平均40％、消費税が25％に上る。手元に残るのは決して多くない。これで生活できるかと不思議に思うかもしれないが、大学は無料で親が出す必要は全くない。それどころか学生年金として、一律ではないが一人暮らしの場合は現在の日本円レートで14万7千円ほどもらえる。少し節約すればわずかでも蓄えができるほどだ。◆福祉もすごい。寝かせきり老人など全くいない。障害を持った人でも自由に街に出られるように低床バスは当たり前で、どこもかしこもバリアフリーだ。施設の職員や病院の勤務者も患者さんの移動に力を使うことがないようリフトが整備されている。時間はかかるが腰を痛める職員などいない。障害を持つ人にとっても健常者にとっても負担の少ない国になっている。食事介助にしても、いつどんな時間でもちゃんと対応する。デンマークの人々は皆が豊かさを実感している。だから政治家をとても信用している。もし政治家が不正をしたら二度と政治の世界には戻れない。◆ひるがえって日本はどうか。政治家は裏金を作るし、公約は守らない。国民が困っていても耳を貸さない。政治家が国民に頭を下げる時は選挙前だけだ。そろそろ本当の政治家を作らないと日本は沈没してしまう。（S・H）